

# バリアフリーの 街づくりに ご協力ください

神奈川県では、「神奈川県みんなのバリアフリー街づくり条例」に基づき、誰もが安心して快適に生活でき、かつ、自由に外出することができるやさしい街づくりを進めています。障がいのある方、高齢の方、小さなお子さん連れの方などが、飲食店を利用したいと思ったとき、様々なバリアにより不便を感じたり、使うことができなかつたりすることがあります。飲食店の皆さまのあたたかな配慮は、素敵なお店づくりにもつながるはず。ぜひ、できるところからバリアフリーの街づくりにご協力ください。



## できるかも その1

## 建物のバリアフリー

「神奈川県みんなのバリアフリー街づくり条例」では、飲食店を含め、不特定多数の人が利用する建物を新しく作る時に、スロープや手すりの設置など、障がいのある方などが利用できるように配慮した整備をすることを求めています。既存のお店についても、条例で、バリアを取り除く努力をお願いしています。取り組めることがないか、いま一度、確認をお願いします。

1

### 出入口スペース

- 出入口の段差の解消
- スロープの設置または簡易スロープの用意
- 自動ドアまたはスライド式ドアの導入
- 出入口付近の物を整理して、広いスペースを確保  
など

2

### テーブル・イス

- 車イスやベビーカー用のスペースの用意  
(可動式イスの用意)
- 車いすのまま利用できる  
(前輪などがぶつからない) テーブルの用意

など

3

### トイレ

- バリアフリースイールの導入
- ベビーチェアやおむつ交換台の導入
- 近隣の利用可能なバリアフリースイールの情報提供

など

「神奈川県みんなのバリアフリー街づくり条例」の概要、整備基準の解説等はこちらから→





## できるかも その2

# カラーバリアフリー

色覚（色の感じ方）は味覚や嗅覚と同じように、人それぞれ違っていています。見分けやすくするためにつけられた「色」が見分けにくいなど、特定の色がわかりにくい方もいらっしゃいます。お店の看板、メニュー、案内のサインなどを作成する際、「色使いのガイドラインサインマニュアル Ver.2」を参照いただき、カラーバリアフリーに配慮をお願いします。

### 例えばトイレのサイン

色の違いだけでは、人によって違いを認識できない場合があります。

このように見える方も

男性 MEN      女性 WOMEN

- ・形の違いをわかるようにしましょう
- ・文字を併記するとさらにわかりやすくなります
- ・色はパステル調より彩度が高い色同士だと違いがわかりやすいです

「色使いのガイドラインサインマニュアルVer.2」はこちらから→



## できるかも その3

# こころのバリアフリー

スロープやエレベーターの設置、バリアフリースイールの導入などは既存の建物・お店では難しい場合が多いですが、こころのバリアフリーの取り組みは今日からできます。まずは、困っていそうな方がいたら、「お手伝いできることはありますか？」と声をかけることから始めてみましょう。気づいたことから一つずつ、バリアを取り除く取り組みをお願いします。

### こうしました！

1

筆談ができるように、スケッチブックと太目のマジックを用意しました！

### こうしました！

2

メニューを写真付きにし、番号を付け注文しやすくなりました！

### こうしました！

3

「電話リレーサービス」についてスタッフ研修会を開きました！

令和6年（2024年）4月1日から事業者による障がいのある方への合理的配慮の提供が義務化されていますので、障害のある方から「社会的なバリアを取り除いてほしい」という意思表示された場合には、その実施に伴う負担が過重でない範囲で、バリアを取り除くために必要かつ合理的な対応をとる必要があります。障がいのある方からの申出への対応が難しい場合でも、目的に応じて代替りの手段を見つけていく話し合いをお願いします。

「合理的配慮」について詳しくはこちらから→

